

令和5年度 入学試験日程

学部	入試種別	募集人員	出願期間	試験日	合 格 発表日
医学部	学校推薦型選抜入試	2(※1)	11月1日～11月11日	11月26日	12月1日
	卒業生推薦入試	7			
	一般選抜入試(I期)	83	12月7日～1月11日	1次 2月4日 2次 2月11日 または2月12日	2月8日
	地域枠選抜入試	新潟:調整中 静岡:調整中 茨城:調整中			2月13日
	一般選抜入試(II期)	18	2月1日～2月17日	1次 3月4日 2次 3月11日	3月8日 3月13日
歯学部	総合型選抜入試	5	9月1日～9月14日	1次 書類審査のみ 2次 10月22日	10月5日 11月1日
	学校推薦型選抜入試	27(※2)	11月1日～11月11日	11月26日	12月1日
	卒業生推薦入試	5			
	編入学試験(2年次編入)	若干名			
	一般選抜入試(I期)	44	12月7日～1月18日	2月5日	2月8日
	一般選抜入試(II期)	10	2月1日～2月21日	3月5日	3月7日
薬学部	大学入学共通テスト利用入試	5	12月7日～1月18日	共通テスト:1月14日・15日 面接:2月5日	2月8日
	総合型選抜入試	20	9月1日～9月14日	1次 10月1日 2次 10月22日	10月5日 11月1日
	学校推薦型選抜入試	指 定 校:25 公 寶:15 特別協定校:6	11月1日～11月11日	11月26日	12月1日
	卒業生推薦入試	7			
	一般選抜入試(I期)	95	12月7日～1月18日	2月5日	2月8日
	医学部一般選抜入試(I期)利用の薬学部併願入試	5	12月7日～1月11日	1次 2月4日 2次 2月11日 または2月12日	2月8日 2月13日
保健医療学部	一般選抜入試(II期)	22	2月1日～2月21日	3月5日	3月7日
	大学入学共通テスト利用入試	5	12月7日～1月18日	共通テスト:1月14日・15日 面接:2月5日	2月8日
	総合型選抜入試	看護:7 理学:6 作業:6	9月1日～9月14日	1次 10月1日 2次 10月22日	10月5日 11月1日
	学校推薦型選抜入試	看護:37(※2) 理学:10(※3) 作業:6(※2)			
	卒業生推薦入試	看護:3 理学:1 作業:1	11月1日～11月11日	11月26日	12月1日
	編入学試験(看護学科3年次編入)	10			
保健医療学部	一般選抜入試(I期)	看護:38 理学:13 作業:8	12月7日～1月18日	2月5日	2月8日
	理学療法学科一般選抜入試(I期)利用の作業療法学科第二希望併願入試	若干名			
	一般選抜入試(II期)	看護:3 理学:3 作業:2	2月1日～2月21日	3月5日	3月7日
	理学療法学科一般選抜入試(II期)利用の作業療法学科第二希望併願入試	若干名			
	大学入学共通テスト利用入試	看護:7 理学:2 作業:2	12月7日～1月18日	共通テスト:1月14日・15日 面接:2月5日	2月8日

※1 特別協定校のみ

※2 特別協定校・指定校・公募

※3 特別協定校・公募

入試種別	募集人員	出願期間	試験日	合 格 発表日
推薦入試(公募・指定校)	約70	10月14日～10月28日	11月3日	11月7日
学士・短大学士選抜入試	約10			
一般選抜入試I期	約70	12月1日～12月27日	1月9日	1月11日
一般選抜入試II期	若干名	2月3日～2月24日	3月1日	3月2日

い込まれましたが、それ 影響で、一度は廃刊に追 和大 学新聞と引き継ぎ、その後、その後、新聞は大 学新聞を起点とし、その他の新聞は大 学新聞に創刊された昭和45年7月から昭和46年に創刊され、昭和47年8月に正委員長（現学長）が就任した。昭和47年8月に創刊された昭和47年8月31日発行（平成25年8月31日）の「昭和大学新聞」によると、本学新聞は昭和47年8月31日（平成25年8月31日）に創刊された。昭和47年8月31日（平成25年8月31日）に創刊された。

- 現在の形式での昭和大学新聞は、令和4年9月号を以て終了し、令和4年11月、装いを新たに発行いたします。(発行回数は6回/年、奇数月)
- リニューアルに伴い、同窓生を含む学外への発送につきましては、今号を以て終了といたします。
※同窓生の方で、送付の継続をご希望の方は、総務課大学広報係までご連絡ください。
- TEL: 03-3784-8059
Mail: press@ofc.showa-u.ac.jp (担当: 吉岡)
- 昭和大学新聞は本学ホームページでもご覧いただけますので、是非ご利用ください。

令和5年度昭和大学入学試験要項を8月3日から公開し、総合型選抜入試の出願がスタートした。昨年度からの変更点は、保健医療学部理学療法学科と作業療法学科において特待制度の対象者を拡充し、これまでの一般選抜入試(I期)に加え、総合型選抜入試と学校推薦型選抜入試の合格者も、初年次授業料が免除になる(補欠線上げ合格は制度対象外)。保健医療学部理学療法学科・作業療法学科から保健医療学部理学療法学科専攻・作業療法学科専攻へ令和5年4月1日を以降に改組の予定。また、学校推薦型選抜入試と卒業生推薦入試の併願を試と卒業生推薦入試の併願、医学部一般選抜入試(I期)二二次試験の小論文試験を、それぞれ廃止する。

※詳細は昭和大学受験生サイトをご確認ください。
<https://adm.showa-u.ac.jp/>

令和5年度 入学試験要項 決定 特待制度 理学・作業で対象者を拡充



学校法人 昭和大学

発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 ~142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部 50円 毎月1回発行

9月号の内容

- 1面
・令和5年度入学試験要項決定
・昭和大学新聞リニューアルのお知らせ
2面
・昭和大学リカレントカレッジ第1回特別講演会開催
・附属病院看護業績賞受賞者決定
・認定看護管理者教育課程サードレベル開講式
・夏季スポーツ大会競技結果
・昭和大学各附属病院へのご支援の状況
3面
・抗菌薬の処方動向を明らかに－保険薬局の調剤データを活用
・肝臓内のアミノ酸が脂肪肝を悪化させるメカニズムを解明－肝疾患の新たな治療法開発に期待
・竜祭実行委員会が富士吉田福祉協議会へ寄付
・就任のお知らせ
4面
・横浜キャンパスに国際交流センター サテライトオフィスを開設
・昭和大学リカレントカレッジ活動報告
・昭和大学公認サークル紹介
・昭和大学サポート寄付金寄付者氏名

[問い合わせ先]

- [本紙について] 総務課大学広報係
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
[各種募金・寄付について] 企画課
03-3784-8387
[学事について] 学務課、大学院課、入学支援課
03-3784-8022(旗の台)
0555-22-4403(富士吉田)
045-985-6503(横浜)
03-3784-8026(入学支援課)



広報担当理事
(昭和大学新聞等編集委員会 委員長)
小 風 晓

- 令和5年度入試のポイント・変更点
- 保健医療学部理学療法学科・作業療法学科の特待制度の対象者を拡充
 - 保健医療学部リハビリテーション学科への改組
 - 学校推薦型選抜入試と卒業生推薦入試の併願を廃止
 - 「医学部一般選抜入試(I期)利用の併願入試」の歯学部併願を廃止
 - 医学部一般選抜入試(II期)二次試験の小論文試験を廃止
 - 転部入学・転科制度を廃止予定(令和5年度入学者より適用)
 - 出願書類審査の点数化なし(総合型選抜入試は除く)

昭和大学新聞リニューアルについて

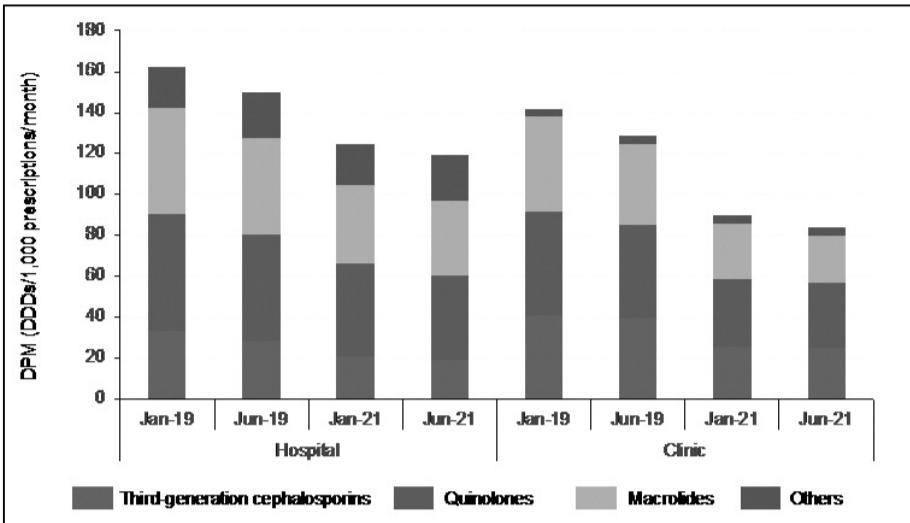
医学堂書店
品川区旗の台
電話(03)3783-9774

京都薬科大学の村木優一 教授、昭和大学薬学部の前田真之准教授(臨床薬学講座)、おもに感染制御薬学部門、および日本薬剤師会の共同研究グループは、全国2,638の保険薬局のレセプトコンピューター(診療報酬明細書作成システム)に保存されている調剤データから抗菌薬処方動向を、新規指標を用いて明らかにした。これにより薬局単位あるいは地域における薬剤耐性(AMR)対策のためのデータ収集・評価が可能となり、保険薬局による抗菌薬使用状況に基づいたAMR対策の推進が期待される。

この研究成果は科学雑誌『Antibiotics』(impact factor: 5.222)に掲載された。

薬剤耐性菌の増加と広がりは世界的な問題となつており、2019年には全世界で120万人以上が薬剤耐性による感染症で死亡したと推定されている。世界各

国でその対策が求められており、日本では2016年に薬剤耐性(AMR)アクションプランが作成され、抗菌薬使用量および薬剤耐性の減少が目標として設定されている。AMR対策における重要な取り組みの一つは、抗菌薬使用動向を適切に把握・評価し、対策につなげることである。抗菌薬の過剰使用や不適切な使用を減らさせて耐性菌の発生を抑えることにより、耐性菌による感染症の疾病負荷(死亡や障害など)を減少させることとなる。



本邦では、経口抗菌薬の使用が大半を占めており、その外來处方の多くは保険薬局の薬剤師が調剤を行っていることから、保険薬局における抗菌薬使用の評価方法の確立が重要となる。

今回、京都薬科大学、昭和大学、日本薬剤師会の研究チームは、全国の保険薬局における調剤データを用いて、新規指標を用いて明らかにした。これにより薬局単位あるいは地域における薬剤耐性(AMR)対策のためのデータ収集・評価が可能となり、保険薬局による抗菌薬使用状況に基づいたAMR対策の推進が期待される。

この研究成果は科学雑誌『Antibiotics』(impact fact

or: 5.222)に掲載された。

（論文名）

Antibiotics (impact factor 2021; 5: 222)

Exploration of Trends in Antimicrobial Use and Their Determinants Based on Dispensing Information Collected from Pharmacies throughout Japan: A Fi

rst Report (DOI)

<https://doi.org/10.3390/antibiotics11050632>

保険薬局の調剤データを活用し、抗菌薬の処方動向を明らかに

肝臓内のアミノ酸が脂肪肝を増悪化するメカニズムを解明

肝疾患の新たな治療法開発に期待

研究成果



筆頭著者の赤須里沙子さん

は、マウスに長期間高脂肪食を摂取させたところ、肥満・糖尿病の発生を抑えることにより、耐性菌による感染症の疾病負荷(死亡や障害など)を減少させることとなる。

研究の背景

アミノ酸は人間の生存に必須の栄養素であるが、肥満や糖尿病が発症すると体内のアミノ酸バランスが崩れ、これが合併症である肝疾患の原因の一つになることが知られている。炎症を伴わない脂肪肝から非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)までを含む一連の肝疾患(NALFD)の患者は国内で1,000万人以上と推定され、社会的にも極めて注目度の高い疾患である。アミノ酸は人間の体内では主に腸内細菌や筋肉が作用するところであったが、肝臓内ではこれまで注目されていなかつた。

研究の意義

過去の研究で血液中のアミノ酸と糖尿病や生活習慣病の関係が調査してきた結果は肝臓内部でカルパイン

アミノ酸の産生によって、環境中のアミノ酸バランスの変化を肝細胞が感知し、同細胞の脂肪新生が活性化され、脂肪肝の発症につながることを明確化した。

（掲載誌）
米国生化学分子生物学会誌『Journal of Biological Chemistry』(DOI: <https://doi.org/10.1074/jbc.R303116jbc.016/jbc.2022.101953>)

7月15日、昭和大学祭実行委員会の洪紫都乃さん(同部門長)、新井陸さん(同部門員)が、富士吉田市社会福祉協議会を訪問し、模擬店で得られた利益の一部を寄付した。昭和大学富士吉田キャンパスの最大のイベントである祭は、近年、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、例年行われていたバザーや模擬店を開催することができなかった。今年もバザーの開催は叶わなかつたものの、飲食を提供し

富士吉田福祉協議会へ寄付

実行委員会の洪紫都乃さん(同部門長)、新井陸さんは学生を代表して、世界遺産を前に毎日健やかに勉学に励むことができる

7月15日、昭和大学祭実行委員会の洪紫都乃さん(同部門長)、新井陸さんは学生を代表して、世界遺産を前に毎日健やかに勉学に励むことができる

7月15日、昭和大学祭実行委員会の洪紫都乃さん(同部門長)、新井陸さんは学生を代表して、世界遺産を前に毎日健やかに勉学に励むことができる

7月15日、昭和大学祭実行委員会の洪紫都乃さん(同部門長)、新井陸さんは学生を代表して、世界遺産を前に毎日健やかに勉学に励むことができる

7月15日、昭和大学祭実行委員会の洪紫都乃さん(同部門長)、新井陸さんは学生を代表して、世界遺産を前に毎日健やかに勉学に励むことができる

7月15日、昭和大学祭実行委員会の洪紫都乃さん(同部門長)、新井陸さんは学生を代表して、世界遺産を前に毎日健やかに勉学に励むことができる

7月15日、昭和大学祭実行委員会の洪紫都乃さん(同部門長)、新井陸さんは学生を代表して、世界遺産を前に毎日健やかに勉学に励むことができる

7月15日、昭和大学祭実行委員会の洪紫都乃さん(同部門長)、新井陸さんは学生を代表して、世界遺産を前に毎日健やかに勉学に励むことができる



左から、田辺静輝さん(富士吉田市社会福祉協議会)、洪さん、新井さん、河合さん

昭和大学リカレントカレッジ
春期プログラム実地研修の様子ならびに秋期プログラム紹介第3弾

本年4月から実施した春期プログラムでは魅力ある21の講座が開講されました。今年度は実地研修を含むプログラムも感染対策を行いながら開講することができました。「諸国名庭園探訪①～平泉・淨土思想と庭園～」では、世界遺産にもなっている平泉の中尊寺や毛越寺などを実際に巡り、歴史的背景を踏まえた庭園の解説や意見交換を行いました。

秋期プログラムの受講生を募集しています。ご興味のある方はお早めにお申し込みください。



【実地研修の様子】

講座名	講師(敬称略)	申込締切
元特捜検事が解説する!身近な犯罪プロファイル	城 祐一郎	10月10日 (月)
【11月開講】若手営業職、MRのための “営業を楽しみながら、業績を上げ続ける人”養成講座	藤本 康久	
自ら学ぶ「自ら守る」 おとなのアレルギー・アナフィラキシーショック	鈴木 慎太郎 他	11月10日 (木)
医療従事者のための英会話講座(応用編)	クリス シリー 他	
自然治癒力を高めましょう! ～ストレス社会を軽やかに生きるために～	佐々木 晶子 他	12月11日 (日)
【1月開講】ICUにおけるリハビリテーション専門職の養成	田代 尚範 他	
保険診療って何?入門篇	本間 哲也	

※問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務室 (03-3784-8143)



昭和大学 公認サークル紹介(令和3年度優秀サークル)

楽曲研究会

【サークルの概要】

- ・所属人数 35人(男 18人・女 17人) ・活動日: 不定期
- ・代表者名: 前田昌子
- ・問い合わせ先: 富士吉田教育部 前田昌子 0555-22-4403(富士吉田校舎 代表)



ミュージカル

【サークルの概要】

- ・所属人数 37人(男 4人・女 33人) 令和4年6月現在 ・活動日: 隨時
- ・代表者名: 高仲尊子
- ・問い合わせ先: 03-3784-8163(歯学部口腔生化学講座内)



旗の台ガーデニングサークル

【サークルの概要】

- ・所属人数 18人(男 4人・女 14人) ・活動日: 隨時
- ・代表者名: 小口勝司
- ・問い合わせ先: 薬理学講座(医科薬理学部門) 宇高結子 03-3784-8125 (ykanda@med.showa-u.ac.jp)



メンタルチューニングlab.

【サークルの概要】

- ・所属人数 23人(男 10人・女 13人) ・活動日: 毎月1~2回(不定期)
- ・代表者名: 有川健一
- ・問い合わせ先: 03-3300-5231(烏山病院代表番号) kenbow@cmed.showa-u.ac.jp



昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

創立100周年に向けてへの寄付

- 【職員】鈴木 慎太郎 様
- 【一般】荻原 範親 様 / 株式会社リジョイスカンパニー 様

教育研究協力資金への寄付

- 【父 母】吉田 勝哉 様 / 西原 正幸 様 / 保坂 猛 様 / 医療法人隆望会 理事長 東 隆行 様

学生等の留学・国際交流の寄付

- 【同 窓】清水 美穂 様(薬学部・21回生)

昭和大学附属烏山病院への寄付

- 【同 窓】医療法人高仁会 理事長 高橋太郎 様(医学部・65回生)

各クラブ・学生会への寄付

- 【同 窓】医療法人高仁会 理事長 高橋太郎 様(医学部・65回生)

大学主催行事への寄付

- 【同 窓】医療法人高仁会 理事長 高橋太郎 様(医学部・65回生)